

図書館だより

2月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	②	3	4	5	6	7
8	⑨	10	⑪	12	13	14
15	⑫	17	18	19	20	21
22	⑬	24	25	26	⑭	28

○印 休館日・祝日(11日)
月曜・祝日(11日)
月末館内整理日(27日)

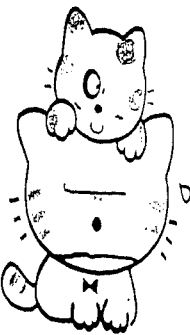
街路樹に仰ぐ日頭ふ余寒かな
蛇 菊
餘寒は寒が明けてから、なお残る寒さを言う。春寒しと言うのと、大体同じである。

〔最新俳句歳時記〕より

今月の新刊図書案内

一般 図書

心に緑の種をまく 渡辺茂男
ミジンコ道楽 坂田 明
心を知る技術 高橋和巳
八百万の神々 戸部民夫
家紋の話 泡坂妻夫
父より慶喜殿へ 大庭邦彦
ダイアナ妃の真実 完全版
アンドリュース・モートン
お手頃!! 1万円台の宿
明日を読む 堺屋太一
情報公開法 右崎正博ほか
「民」食う人びと 佐高 信
同盟漂流 船橋洋一
ビッグバン後の日本経済 田中直毅
「家をつくる」ということ 藤原智美
いじめと闘い、勝つ! 小寺やす子



地球温暖化とオゾン層破壊 泉 邦彦
プログラムとしての老い 日高敏隆
免疫学個人授業 多田富雄
ぐうたらテクノロジー 近藤雅樹
家づくり心配ごと解消事典 草原社
近藤典子の収納カンタン宣言! 近藤典子
天敵ウオッチング 根本 久
かわいい小動物の飼育方 宗こうすけ
家庭で治せるペットの病気 大木政春
だれでもできる最新楽しい藤教室 谷川栄子

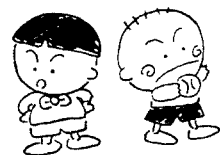
ジャズの黄金時代とアメリカの世紀 大和 明
芝翫芸模様 中村芝翫
天晴れ小錦 小室 明
1本からの花あしらい 世界文化社
青葉は青いか 北原保雄
めいっばいネイティブ気分 西森マリ
ハシモト式古典入門 橋本 治
風車祭(カジマヤー) 池上永一
しのびよる月 逢坂 剛
秒速10センチの越冬 岡崎祥久
高瀬川女船歌 沢田ふじ子
ペーパーノーチラス 塩野米松
おんな舟 白石 一郎
ブレイン・ヴァレー上・下 瀬名秀明

児童 図書

科学者レイチエル・カーソン ホームパーティーへようこそ
コップの中の大火山
むし菌のもんだい
てぶくろ人形パーティー
ミルックブック
リサイクル・作って遊ぶ 1〜7
きみのおかげだよ
ソクラテスほえる
シンタのあめりか物語
赤い鳥を追って
パーシーとアラビアの王子さま
天使たちの贈り物
あかいとり
かっちゃんワニになる
おー、うんこ
小さなソロ
おちびのネル
外七八冊

心の健康シリーズ (58)

親が変われば 子も変わる



我が子をだれからも批判されない、良い子に育てようとするあまり、悪いことや問題をこすすこすしたり、罰したりして子どもを責め立てますが、しかし、子どものこの様な行動の原因には、いろいろの要素が含まれており、子どもだけを責めるのは的を得ていない場合があります。友人や親や教師など、子どもを取りまく人々にも原因があることも多いし、また、近隣や社会の環境条件も影響していることもあります。

このように考えたとき「原因が親にあるのではないか」と考えてみることも大切です。子どもを責める前に、親がこれまで、どのような子育てをしてきたかについて反省することも必要です。

すべて親のせいというのも偏見であるとしても、親の考え方、感じ方、親の態度などが長い期間にわたって子どもの心に影を投げかけているかもしれないと、親自身の側に問題を投げかけてみることも必要なことではないでしょうか。そして、問題点があれば直したほうが良いわけで、問題点を軽視したり、無視したりといった逃げ腰にならず、じっくり自分を見つめ、改めるべき点は改めるという気持ちになれたとき、そこに前進と改善のスタートがあります。

進と改善のスタートがあります。

子どもの問題の原因が親のどのような言動が起因しているか正しく把握するのは容易なことではありませんが、例えば、子どもがおとなしすぎて、引っ込み思案で、消極的で弱々しいという問題をもっているとしたら、

このような問題の原因には、次のようなことが考えられます。

第一には、親の型として不満型です。子どもに対していつも不満たらたら。これでは子どもは自信なく、引っ込み思案となってしまう。

第二は、親の型として、厳格型です。あまり型にはめこもうとして、発想の芽を摘み取られ、自己抑制が強く、積極性がかけてしまっています。

第三は、親の干渉型です。あまりに手をかけられ過ぎて受身的となり、依頼心が強くなって、消極的になってしまいます。

第四は、心配型です。子どものすることを心配し過ぎるため、子どもが神経質になり、自信喪失となります。

第五に親の溺愛型です。温室育ちは外に出たとき、心理的圧力を感じ、引っ込み思案となります。

親の態度の変化によって、子どもも変化し、子どもの問題も解消していきます。

子どもの悩みごととは

教育相談室へ

(八朔屋台展示庫前)
月・金 午前8時30分
午後4時30分

☎ (43) 13223